

大幅増員と夜勤改善で、安全・安心の医療・介護を求める意見書

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制政策のもとでも、医師、看護師などの懸命な努力で支えられてきた。

しかし、医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く、深刻な人手不足になっている。医療現場の実態はかつてなく過酷になっており、全国各地で医師や看護師の不足が深刻化している。

看護師など夜勤交代制労働者の労働条件を抜本的に改善し人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現することが急務となっている。

医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度の拡充が求められている。

以上の趣旨から、町田市議会は、国に対し、看護師等の大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図ることを求めるものである。

- 1、 I L O看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
- 2、 医療、社会保障予算を先進国（O E C D）並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
- 3、 国民（患者・利用者）の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。